

県立高校における定期考査の答案の処分について

1 該 当 校 宮城県南郷高等学校

2 概 要

- 南郷高等学校で2月20日（木）に実施された2年生産業技術科の生徒14人分の「コミュニケーション英語Ⅰ」の学年末考査の採点済み答案を、生徒に返却せずにシュレッダー処理した。
- 考査後、教科担当者が採点を済ませ、3月30日（月）の修業式後に生徒に返却する予定であったが、すでに進級が決定していることから、答案の保管は不要と考えシュレッダーで処分した。本日、3月30日（月）の答案返却を前に、校長が校内での答案保管状況について職員に確認したところ、本人からの申し出があり発覚した。

3 対象生徒 2年生 コミュニケーション英語Ⅰ 14人

4 考えられる要因

- 臨時休業となったことを受け、同校では3月30日（月）に修業式を行うこと、採点済み答案は生徒に返却できない状況であってもまとめて保管しておくことについて校長が指示していたが、当該教員は成績処理を終えていることから、答案の返却は不要と考えシュレッダー処分した。

5 対 応

- 14人の生徒及び保護者に対しては、本日中に電話で事情を説明し謝罪するとともに、3月30日（月）に実施する修業式において改めて校長から謝罪する。
- 対象生徒の得点については、担当教員が採点後に記録し、その得点で成績処理及び成績会議が行われ、確定している。

6 再発防止に向けて

- 考査後の回収した答案及び採点済み答案については、必ず鍵のかかるロッカーなどで保管することを徹底するよう、すべての県立高等学校に対して本日付けで通知する。